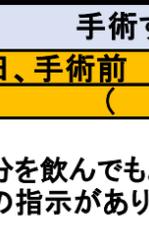
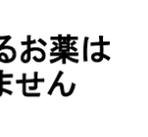
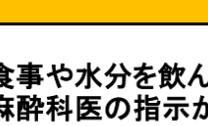
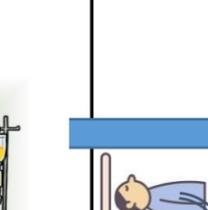
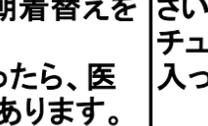
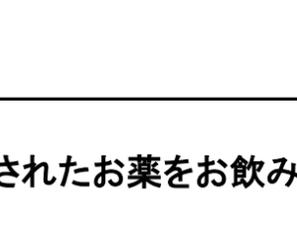
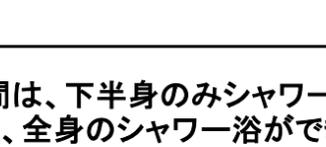
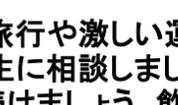


「胸腔ドレナージパス：患者用」

患者さんには、クリニカルパスに基づいた医療をおこないます。

※気胸で入院しても、手術を行う場合と行わない場合があります。

説明年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

	入院日 (月 日)	手術する場合				ドレーン抜去まで (月 ~ 日)	退院日 (月 日)
		手術前日 (月 日)	当日、手術前 (月 日)	手術後	手術翌日 (月 日)		
食事	普通食 	普通食 	食事や水分を飲んでもよい時間は麻酔科医の指示があります 	朝食から開始します 	朝食から開始します 	普通食 	
内服	薬剤師が伺い持参された薬を確認します。	通常のお薬をお飲みください 	朝、医師が指定した薬のみ内服してください	内服するお薬はありません	薬が開始になります(痛み止めと痰を出しやすくするお薬)	痛みがある場合、看護師へ言って下さい。頓服で痛み止めをお渡しします 	指示されたお薬をお飲みください
処置	・身長、体重測定 胸に管が入ります 				創部の消毒を行います 朝、尿の管を抜きます	・創部の状態に応じ処置をします	
運動	制限はありません	胸に管が入っていますが移動はできます 看護師に声をおかけください 	ベッド上安静	朝から歩行できます		制限はありません 	
検査	・採血・心電図 ・ドレーン挿入後レントゲン ・CT(持続吸引器持参)				・採血・胸のレントゲン 	・胸のレントゲン ・採血(必要時) (検査を行う時は前日にお知らせします) 	レントゲンの結果、肺の膨らみが前日と変わらなければ退院となります。
点滴			手術時間によっては、点滴を行う場合があります 	点滴があります			
入浴	胸の管が入っている間は下半身のみシャワー浴ができます 	胸の管が入っている間は下半身のみシャワー浴ができます 		体を拭きます 		・胸の管が入っている間は、下半身のみシャワー浴ができます ・管が抜けた2日後から、全身のシャワー浴ができます 	
説明	・患者識別ベルトを装着します ・看護師が入院生活についての説明をします ・入院までの生活情報を看護師がお聞きします ・胸の管の取り扱いについて説明をします ・痛みが強い時は、鎮痛剤が使用できますので遠慮せずに言ってください 	・麻酔科医が往診します。麻酔の同意書を作成します。手術開始時間が決まります。 ・手術について医師から説明があります。 ・看護師から手術の説明を行います。 <手術に必要な物品> コップ、ストロー、または吸い飲み 	・術前のパンフレットを再度お読みください。 ・手術室へは、手術着で行きますので到着替えをお願いします。 ・手術が終わったら、医師から説明があります。ご家族の方は、お部屋またはデイルームでお待ちください。病棟を離れる時は、ナースステーションに声をおかけください。 心電図 酸素 点滴 胸腔ドレーン 尿 フットポンプ 	・痛い時には、痛み止めが使えますので、遠慮せずに言ってください。痛み止めのチューブが背中側に入っています。 早期回復のために歩くようにしましょう。手術後、初めて歩く時には、看護師が付き添います。 手術後は、肺炎を予防するために痰をたくさん出しましょう。 	痛みは手術後2日目位をピークに徐々に軽減していきます。管が抜けたとかなり楽になりますが、手術時、肋骨周囲の神経に触れる影響で脇腹にピリピリした感じが続く場合があります。湿布をしたり暖めたりすることで緩和できますが、症状が続くこともあります。ご理解ください。 	・次の外来受診、内服薬について、看護師・薬剤師が説明に伺います。 《退院後の注意点》 ・痛みが急激に強くなったとき。発熱・息苦しさを感じたとき。傷口に異常があるとき。は次の外来日前でも受診をしましょう。 ・次の外来日までに旅行や激しい運動を考えている方は、先生に相談しましょう。 ・禁煙は、退院後も続けましょう。飲酒も次の外来日までは控えましょう。 ・風邪予防のために、手洗い・うがいを心がけましょう。 ・内服薬は用量・用法を守りましょう。 ・次回外来日までは、入浴はせずシャワー浴を行いましょう。	

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度個別にご説明致します。